

第2編 事業別実績報告

第1章 個表の見方について

1. 達成状況等について

達成状況等	(事業費比較) 3ヵ年 実績額/計画額	0,000,000千円/0,000,000千円=00.0%
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	000人/000人×100=00点
	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]	

達成状況欄では、実施計画期間（3年間）における事業費の計画額と実績額を比較する「事業費比較」と、3年間の数値目標等を比較する「数値目標等比較」を行いました。

また、「数値目標等比較」に従い「達成状況」を4段階で評価しました。

(1) 事業費比較

事業費比較は、[実績の事業費]÷[計画の事業費]で算出し、百分率(%)で表します。

(実績の事業費：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額等としました) 小数点第二位を四捨五入し、表示単位は小数点第一位までとします。なお、下記事業における基金への積立金については、より多くの金額を積み立てることが目標となっているため、事業費比較は100%以上となることを目指しています。

66. 庁舎整備事業

104. 財政調整基金積立金

(2) 数値目標等比較

数値目標等比較は、タイプ別に算出方法や表現が違います。

(数値や率の場合)

[実績の数値・率]÷[計画の数値・率]×100で算出し、点数で表現します。

小数点第一位を四捨五入し、表示単位は整数とします。

例：(数値の場合) 0,000人(実績) / 0,000人(計画) ×100=00点

(率の場合) 00.0ポイント(実績) / 00.0ポイント(計画) ×100=00点

(条件等の場合)

文章で表現されている場合（「計画の策定」など）は、

[計画での目標等]⇒[実績の状態] 点数 と表現します。

例：基本計画の策定⇒基本計画の策定 100点

造成工事着手⇒事業認可取得 50点

点数は便宜上、計画よりも進んだ場合150点、計画どおり100点

計画の一部を達成している場合50点、何も達成していない場合0点

とします。

※実施計画で定めた数値目標等は、通常、計画を上回ることを目標としていますが、下記の事業については、指標が下回ることを目指しました。

そのため、点数の算出方法を変更しています。

$$[\text{実績の数値} \cdot \text{率}] \div [\text{計画の数値} \cdot \text{率}] \times 100 = A \text{点}$$

数値が下回ることを目指している為、100点-A点を計算し、算出された点数を100点に加算する。

例：(路上禁煙・美化推進地区内の吸殻の数)

計画 397 本 ⇒ 実績 352 本

$$\text{実績 } 352 \text{ 本} / \text{計画 } 397 \text{ 本} \times 100 = 89 \text{ 点}$$

⇒数値が下回ることを目指している為、

$$100 - 89 = 11 \text{ 点を加点して、} 111 \text{ 点とする。}$$

31. 消費生活センター相談及び啓発事業 (消費生活に関する相談件数)

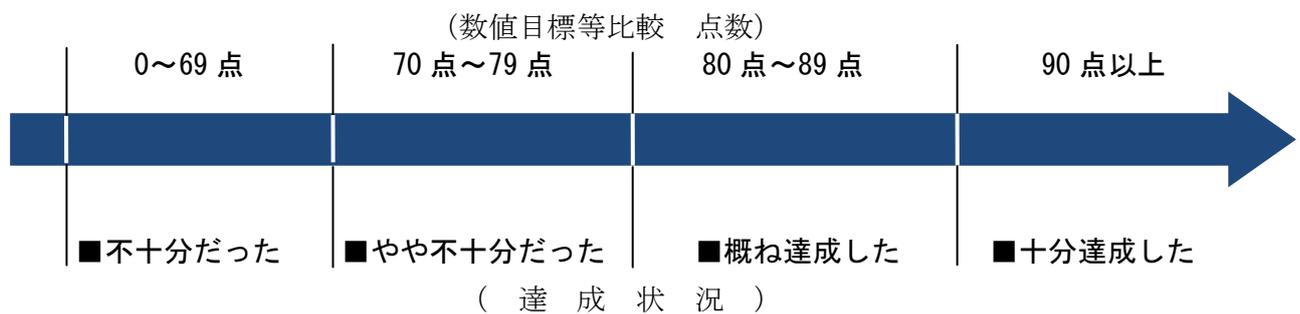
89. 市民マナー条例推進事業 (路上禁煙・美化推進地区内の吸殻の数)

91. 分別収集促進事業 (排出量 (一日一人当たりの排出量))

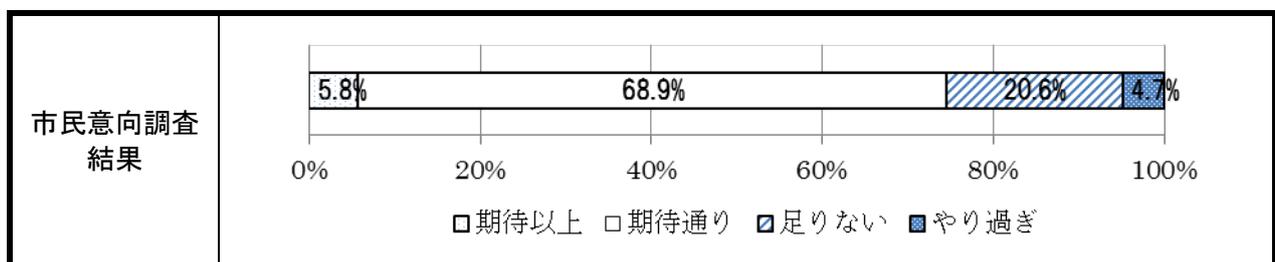
103. 総合市民相談・案内事業 (市民相談件数)

(3) 達成状況

達成状況は「数値目標等比較」の結果に従って、下記のとおりとした。



2. 市民意向調査結果について



市民意向調査結果欄では、事業ごとに質と量の感じ方を質問した調査結果をグラフで表しました。

【質問】

ご自身が抱いていた「施策の目標」への期待の度合と比べて「実施計画事業」の質・量をどう感じましたか。(112事業ごと)

【回答】

・期待以上 ・期待通り ・足りない ・やりすぎ
(それぞれ当てはまるもの1つに○をつける)

